

出資法人等経営状況報告書

1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和7年8月22日	担当部署	農林水産部 農政課
-------	-----------	------	-----------

※以下は令和7年3月31日現在の内容です。

2 法人等の概要

法人名	公益財団法人 浦川原農業振興公社		
代表者	理事長 田鹿 敏行		
	☒ 常勤 ☐ 非常勤	☒ プロパー ☐ 市兼務 ☐ その他	
所在地	新潟県上越市浦川原区顕聖寺 382 番地 1		
設立年月日	平成5年3月19日		
基本金	40,500 千円	市出捐割合	98.8%
設立目的	上越市浦川原区における農業の担い手育成、農作業の支援等を行うことにより、中山間地域の農業生産の維持並びに農地の効率的利用を図り、もって地域農業の振興に寄与する。		
主な事業	(1) 高齢農家や兼業農家の農作業を支援する事業 (2) 高齢農家や兼業農家の農地の管理耕作を通じて農地の保全を行う事業 (3) 地域の担い手育成を図るため、農業から撤退する農家の農地利用調整を行う事業 (4) 中山間地域等直接支払制度等による地域マネジメント活動への支援事業 (5) 地域づくり活動や交流活動への参加による地域振興に貢献する事業 (6) 公共施設等維持管理事業		

3 役員数

(単位：人)

	常勤	非常勤	計	内訳		
				プロパー	市兼務	その他
理事	1	6	7	7	0	0
監事	0	2	2	2	0	0
計	1	8	9	9	0	0

4 職員数

(単位：人)

	計	内訳	
		プロパー	市兼務
正社員	4	4	0
その他	0	0	0
計	4	4	0

5 事業実績（概要）

【令和6年度の経営状況】

経常収益は、米価の上昇と米の直接販売の拡大により、前年度と比較して3,443千円増の57,989千円となりました。

経常費用は、職員の新規雇用に伴う給料手当の増に加え、燃料や資材の価格高騰、農業用機械の劣化による修繕費の増加等により、前年度と比較して4,002千円増の56,897千円となりました。

全体収支としては、当期一般正味財産増減額と当期指定正味財産増減額の合計219千円の黒字であり、正味財産期末残高は72,471千円となりました。

【令和6年度の主な取組】

○農作業支援事業

・基幹農作業受託事業

小規模・高齢農業者を支援し荒廃農地の発生を防止するため、農作業を受託しました。

項 目		令和4年度	令和5年度	令和6年度
水稲関係作業	耕 う ん	3.1 ha	4.4 ha	8.8 ha
	代 か き	3.1 ha	4.3 ha	3.3 ha
	田 植	2.9 ha	3.0 ha	2.8 ha
	溝 切	0.9 ha	1.7 ha	0.3 ha
	刈 取	8.9 ha	9.4 ha	8.9 ha
	合計（延べ面積）	18.9 ha	22.8 ha	24.1 ha
そば関係作業	播 種	2.0 ha	2.0 ha	2.0 ha
	刈 取	5.6 ha	7.3 ha	7.4 ha
	合計（延べ面積）	7.6 ha	9.3 ha	9.4 ha

・地域農業活性化事業

担い手への農地集積を推進するとともに、受け手がない農地の管理耕作を行いました。

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
借 入 面 積	32.5 ha	30.1 ha	29.7 ha
公社耕作面積 （うち水稲作付面積）	22.0 ha (16.4 ha)	25.0 ha (19.3 ha)	25.0 ha (19.3 ha)
水稲収穫量 （10a当たり収量）	83t (8.5 俵)	97t (8.4 俵)	95t (8.2 俵)

○公共施設等維持管理事業

公園や駅舎の除草作業、国県道路の街路樹等の管理、市道や林道の除草作業を行いました。

○育苗センター事業（えちご上越農業協同組合からの受託事業）

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
播種枚数	39,000 枚	39,000 枚	38,500 枚

○地域マネジメント組織の事務を支援

集落を超えて地域の課題に取り組む組織（中山間地域等直接支払交付金の集落協定など）を支援しました。

6 財務状況（税込）

（単位：千円）

項 目		令和 4 年度 自 令和 4 年 4 月 1 日 至 令和 5 年 3 月 31 日	令和 5 年度 自 令和 5 年 4 月 1 日 至 令和 6 年 3 月 31 日	令和 6 年度 自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 31 日
正味財産増減計算書	一般正味財産増減の部			
	経常収益	51,850	54,546	57,989
	基本財産運用益	1	1	10
	特定資産運用益	0	0	0
	受取会費	0	0	0
	事業収益	36,287	42,106	46,934
	受取補助金等	12,537	11,236	10,454
	その他経常収益	3,025	1,204	592
	経常費用	49,282	52,895	56,897
	事業費	46,395	49,952	53,978
	管理費	2,887	2,943	2,919
	当期経常増減額	2,568	1,651	1,092
	経常外収益	300	0	0
	経常外費用	0	0	0
	当期経常外増減額	300	0	0
	税引前当期一般正味財産増減額	2,868	1,651	1,092
	法人税等	836	1,000	733
	当期一般正味財産増減額	2,032	651	359
	一般正味財産期首残高	28,531	30,563	31,215
	一般正味財産期末残高	30,563	31,215	31,574
貸借対照表	指定正味財産増減の部			
	当期指定正味財産増減額	△186	△85	△140
	指定正味財産期首残高	41,308	41,122	41,037
	指定正味財産期末残高	41,122	41,037	40,897
	正味財産期末残高	71,686	72,252	72,471
項 目		令和 5 年 3 月 31 日現在	令和 6 年 3 月 31 日現在	令和 7 年 3 月 31 日現在
貸借対照表	資 産	73,787	75,540	74,564
	負 債	2,102	3,288	2,093
	正味財産	71,686	72,252	72,471
	指定正味財産	41,122	41,037	40,897
	一般正味財産	30,563	31,215	31,574

※ 金額については、千円未満を四捨五入して表示しており、端数処理の関係上、決算書及び計算結果と一致しない場合があります。

7 市からの財政支出等

(1) 委託額（税込）

（単位：千円）

内 訳	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
① 公園等管理委託料	2,607	2,586	2,586	
② 市道、林道草刈料	2,172	2,251	2,251	
合 計	4,779	4,837	4,837	

(2) 財政援助額（税込）

（単位：千円）

内 訳	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
① 補助金（助成金）	4,004	3,094	2,090	
運営費補助金	1,350	0	0	赤字の翌年度に交付
中山間地域等直接支払交付金	1,587	1,796	1,828	
農業経営所得安定対策緊急助成事業補助金	201	0	0	
エネルギー価格等高騰支援金	100	400	0	
中山間地域振興作物生産拡大事業補助金	766	0	0	
鳥獣被害防止施設導入事業補助金	0	107	56	
農業経営継続支援金	0	200	0	
農地渇水・高温対策支援金	0	11	2	
干ばつ災害水田復旧事業補助金	0	580	0	市災害復旧事業
マーケティング活動支援事業補助金	0	0	204	
② 貸付金	0	0	0	
③ 損失補償	0	0	0	
④ 債務保証	0	0	0	
合 計	4,004	3,094	2,090	

8 市以外からの補助金・助成金等

(1) 受給額（税込）

（単位：千円）

内 訳	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
① 水田活用の直接支払交付金	6,341	6,297	7,741	国
② 畑作物の直接支払交付金	481	484	484	国
③ コメ新市場開拓等緊急支援事業（～R4：新市場開拓に向けた水田リノベーション事業）	1,206	1,203	0	国
④ 土づくり資材助成金	46	0	0	J A
⑤ 肥料高騰緩和対策助成金	271	69	0	J A
⑥ 渇水緊急対策農作物かん水使用機械等燃料費助成金	0	5	0	J A
合 計	8,345	8,058	8,225	

9 今後の経営計画等

(1) 次期事業計画

資材や人件費の高騰など、経営環境が厳しさを増す中で、公益財団法人として、定款に定める目的に基づく事業展開を行い、着実にその責務を果たし、地域の期待と信頼に応えていきます。

項 目	令和 7 年度計画	令和 6 年度実績
農作業支援事業（農作業受託事業）	31.5 ha	33.5 ha
農地保全事業（公社耕作面積）	25.7 ha	25.0 ha
公共施設等維持管理事業	10,283 千円	15,195 千円
育苗施設作業受託収益	5,000 千円	9,253 千円
公共施設等管理作業受託収益	4,283 千円	4,837 千円
道路等除雪作業業務受託収益	1,000 千円	1,105 千円

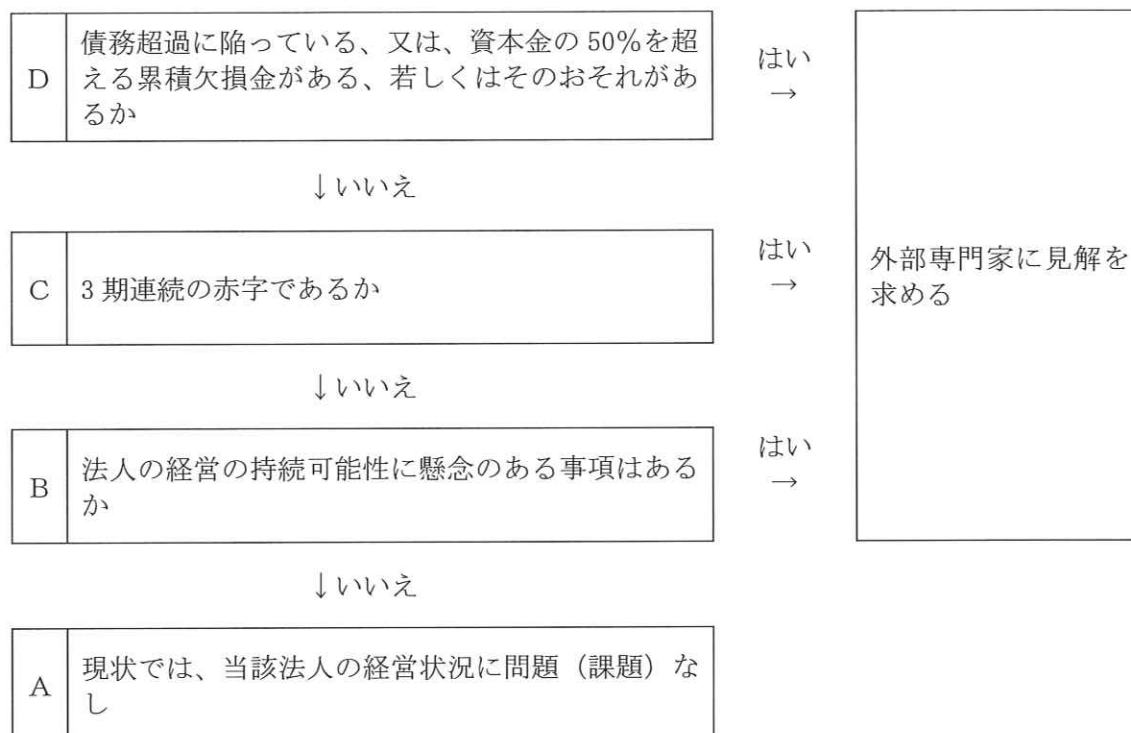
(2) 中長期経営計画

- ・全ての事業において経費の節減に努めており、常に作業の効率化と収支のバランスを考慮しながら事業に取り組んでいます。今後も、資材の購入方法を工夫し地域の農業者等との連携による共同購入に取り組むなど、更なる経費の節減を図ります。
- ・管理耕作事業では、公社の耕作面積を拡大するとともに、補助金を考慮した収益性の高い品種の栽培を行い、高品質米の安定生産と直接販売の拡大を始め、ふるさと納税返礼品や好調の切り餅の加工販売、オリジナル商品（乾そば）の販売も強化し、収益の増加を図ります。

10 令和7年度 経営状況の分析・評価

(1) 第三セクターの経営状況の分析・評価のフローチャート

※「第三セクターに対する関与方針」から抜粋



フローチャートによる評価基準		備考
A	経営状況に問題（課題）なし	引き続き経営努力を行う
B	法人の経営の持続可能性に懸念がある	経営健全化の可能性について、外部専門家に見解を求める
C	当期純利益が3期連続の単年度赤字である	
D	債務超過に陥っている、又は、資本金の50%を超える累積欠損金がある	

フローチャートによる評価	A	→ BからD評価の法人は(2)へ
【特記事項】 特になし		

- ・ 非営利法人においては、累積欠損金という概念がないため、初期の正味財産に対する減少分を累積欠損金と読み替える。
- ・ 「3期連続の赤字」の判断においては、「当期一般正味財産増減高」と「当期指定正味財産増減高」の合計がマイナスとなる場合は、赤字と読み替える。